

# Living the LOTUS

Buddhism in Everyday Life



開祖随感

## 亡き母への供養

私が、まだ牛乳屋の商売をしながら布教に歩いて  
いたころのことです。

亡くなった母の命日が六月二十二日で、その日  
は、わが家の命日にも当たっていましたので、毎月、  
「この日は特別にしっかりとご供養させてもらおう」と  
思っているのですが、その日にかぎって、あの信者  
さん、この信者さんから声がかかって、真夜中まで  
飛び回らなくてはならなくなるのです。

恩師の新井先生にそのこととお話すると、

「庭野さん。お経をあげるだけが供養じゃないんだ  
よ。苦しんでいる人をお救いするために飛び歩く供

養のほうが尊いんです。お母さんやご先祖さまが、  
どれだけ安心し、喜んでくださっていることか」

とおっしゃってくださいました。それが法華経を身  
で読む供養なのだと、そのとき新井先生に教えてい  
ただいたのです。

そう聞かせていただいてから、毎日、休む間もな  
く人さまのために駆け回らせてもらっていると、母のう  
れしそうな顔が目の前に見えてくるような気がしたもの  
でした。

(『開祖随感』9, P. 224-225)

### Living the Lotus 2020年7月号 (Vol.178)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1  
普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: [living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp](mailto:living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp)

編集責任者: 齋藤高市

編集チーフ: 長田健祐

校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼協祖によっ  
て創立された、法華三部経を所依の經典とする在家仏教教  
団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、  
平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在  
は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝  
道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさ  
え、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の  
教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本  
誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。

# いま、自分にできることを

立正佼成会会長 庭野日鏡



## 菩薩として何を願い、誓うか

「信心の母にしたがふ<sup>ぼんえ</sup>盆會かな」(飯田蛇笏<sup>いいた だこつ</sup>)と詠まれる孟蘭盆<sup>うらぼん</sup>の法要も、今月、家族そろって教会道場やお寺に参拝してとなると、それはまだ難しい情勢かもしれません。

仏心とは「一切衆生を救うの心<sup>いっさいしゅじょう</sup>」と教えられていますから、私たちは、いま世界中に広がっている病気によって苦しむ人たちに心を寄せ、事態が早く終息<sup>しゅうそく</sup>に向かうことを願うばかりです。一人ひとりが、自分にできることは何かを考え、それを日々、<sup>しゆくしゆく</sup>粛々と実践していきたいと思います。

それで思い起こされるのが、大地から忽然と湧き出で、この娑婆世界<sup>しゃば</sup>で仏の教え<sup>ひろ</sup>を弘め、実践をとおして「すべての人を救おう」と誓う無数の菩薩<sup>ぼさつ</sup>たちです。

法華經<sup>ほけきょう</sup>の「從地涌出品<sup>じゅうじゆじゆつぽん</sup>」に登場するそれら「地涌の菩薩<sup>じゆ</sup>」の代表が、上行<sup>じようぎょう</sup>、無辺行<sup>むへんぎょう</sup>、浄行<sup>じようぎょう</sup>、安立行<sup>あんりきうぎょう</sup>の四菩薩<sup>し</sup>ですが、これは、仏道を歩むものが最初に「仏さまのようになりたい」と願ったとき、つまり菩提心<sup>ぼだいしん</sup>を発したときに誓う「四弘誓願<sup>しくせいがん</sup>」を象徴的に示しているものと受けとめられます。

上行——仏の道は無上であろうとも、必ず成就しよう(仏道無上誓願成<sup>ぶつどうむじょうせいがんじょう</sup>)。

無辺行——仏の教えは無尽であろうとも、必ず学び尽くそう(法門無尽誓願学<sup>ほうもんむじんせいがんがく</sup>)。

浄行——煩惱<sup>ぼんのう</sup>の数は無数であろうとも、必ずすべてを断ち切ろう(煩惱無数誓願断<sup>ぼんのうむしゆせいがんだん</sup>)。

安立行——衆生の数は無辺であろうとも、必ず救い尽くそう(衆生無辺誓願度<sup>しゅじょうむへんせいがんど</sup>)。

ただ、この四つの誓願のそれぞれを生活に重ねあわせて、日常どのように実践すればいいのかに迷う人もいます。仏教を易しく説かれた、禅宗の松原泰道<sup>まつばらたいどう</sup>師は、「四弘誓願」を実践的な人生訓として次のように表現しています。





衆生無辺誓願度——身近な人に奉仕（布施）をしよう。

煩惱無数誓願断——足ものごみを一つ拾おう。

法門無尽誓願学——一日に一つ、教えを学ぼう。

仏道無上誓願成——永遠の路を一步一步ゆっくり歩もう。

みなさんはいま、仏道を歩む菩薩として何を願い、何を誓って、一日一日をすごしているでしょうか。

## いまが「習学」のチャンス

「四弘誓願」を参考にして、自分にいま何ができるかを考える人は、いうまでもなく仏の教えを信じ、実践する志のある人ですが、それは仏と同じ心になっているということです。「そういわれても」と、氣後れする人があるかもしれませんが、教えにふれて「仏さまのようになりたい」という気持ちを起こしたとき、私たちはすでに、仏の心と一つになっているのです。

仏と私たちは、「<sup>いったいふに</sup>一体不二」といわれます。凡人も聖人も、その本質は一つという意味の「<sup>ぼんしょうふに</sup>凡聖不二」という言葉もあります。私たちに仏の教えの尊さがわかるのは、その根っこにある「すべての人を救いたい」という尊い願いが自分にもあるからです。人間として命をいただいたということは、仏と同じものを<sup>そな</sup>具えているということ——それを信じるのが信仰であり、信心といえるでしょう。

その意味で、いまはまさに、自分の信仰のありようをふり返り、日々の実践という「<sup>しゅう</sup>習学」の<sup>かく</sup>繰り返しをとおして、菩薩の自覚を高めるいい機会なのかもしれません。

ところで、「<sup>しゅじょう</sup>従地涌出品」では、先の四菩薩のような人を、「<sup>み</sup>衆生の見んと<sup>ねが</sup>楽う所」、すなわち「<sup>かつぼう</sup>すべての人がお目にかかりたいと渴望するような方々」だといいます。

私にも、本会の先輩や他宗教の方のなかに、「またお目にかかりたい」と思わせられる方がいますが、その方々に共通するのは、神仏などを<sup>うやま</sup>尊び敬う心が強く、一方では苦しみや悲しみの底に沈む人を常に思いやる、情愛あふれるという点です。私たちも、そのような<sup>しゅうじん</sup>菩提心を発して、日々<sup>しゅうじん</sup>に精進をしまりましょう。

（『佼成』2020年7月号）





## 見返りを求めずに人さまに尽くす



バンコク教会  
プラコップケーオ・セナペン

この体験説法は2019年10月6日にバンコク教会で行なわれた「ようこそ立正佼成会」式典において発表されたものです。

ここにおられる素晴らしい法友の皆さま、おはようございます。私はプラコップケーオ・セナペンと申します。バンコク教会ではプリムと呼ばれています。

本日は皆さまの前でお説法の機会をいただき、とてもうれしく思います。水谷教会長さん、教会の皆さま、ありがとうございます。

はじめに、私を立正佼成会の教えに導いてくださったシウボン先生に心より感謝を申し上げたいと思います。シウボン先生は、仏さまの教えを毎日の生活のなかですぐに実践できる場所があるからと、私をバンコク教会に案内してくださいました。その後も機会あるごとに教会に誘っていただき、今年で10年が経ちました。その間、私の人生には様々な良い変化がありました。

私はスパ施設の美容院とショップで働いています。以前の私は自己中心的で怒りっぽい性格で、また美容師として常に自分が従業員の中で一番だと思っていました。仕事仲間を思いやることも、助けてあげることもなく、それどころか同僚に厳しい言葉で当たり、人の気持ちなどお構いなしの人間でした。

それでも、上司やお客さまは私の仕事を評価してくださり、多くの仕事を任せてくれました。手に余る仕事を抱えても、同僚を信頼していなかった私は、誰にも助けを求めようとはしませんでした。仕事の負担が限界を超えて疲れが溜まると、私はストレスから些細なことで腹を立て、みんなを悪者にしていました。

2009年10月、シウボン先生からお誘いをいただき、本部団参に参加しました。本部では開祖さま

のビデオを見せていただきました。「見返りを求めずに人さまに尽くしましょう」——ビデオから流れる開祖さまの言葉に心が揺さぶられるのを感じました。そして、自分の怒りっぽい性格を変え、よい人間になりたいという強い願いが湧き上がってきました。

「私は変わるんだ」と自分自身に約束をし、そのためにも佼成会の教えに従っていこうと決心しました。その日以来、開祖さまが私のお手本になりました。

教えの実践を始めた頃、私はある感染症のため入院することになりました。それは顔面の神経を冒すウイルスによるもので、病気によって私の顔は変形してしまいました。ある日、心配した職場の同僚が病院にお見舞いに来てくれました。彼女たちにとって、私は厳しい言葉を投げつけるだけで、決して良い仕事仲間ではなかったはずです。そんな私を気遣ってくれる同僚たちに対して、自分が以前とった態度が



バンコク教会で説法するプリムさん

悔やまれ、私は申し訳なさで涙があふれました。私はかつての自分の態度をお詫びし、そんな自分を心配してくれている同僚たちに感謝の気持ちを伝えました。すると、私は心が安らぐのを感じました。同僚の一人は「あなたが温かい心を取り戻して、みんなにお詫びしてくれる時を待っていたの」と話してくれました。

その日以来、同僚たちも私のことを好きになってくれました。職場の雰囲気もとても明るくなりました。

私は乱暴な言葉遣いを改め、丁寧で優しい言葉を使うようにしました。常に同僚に意見を求めて相手を思いやり、相互理解を大切にし、分かち合いと赦し合いの心で行動することで、私の人生は大きく変化しました。お客さまの一人はそんな私の変化に気づき、褒めてくださいました。

開祖さまの教えを学んだことで、同僚への接し方だけでなく、仕事のやり方も変わりました。かつての私は、売上を伸ばすために美辞麗句を並べてお客さまにスパのコースを勧めたり、化粧品を販売したりしていました。見返りを期待して、顧客情報を他のお客さまに教えることもありました。しかし、教えを学んだからは、うわべだけのおしゃべりを止め、まごころでお客さまと会話をするようにしました。すると、より多くのお客さまから信頼をいただけるようになり、依頼される仕事も増えました。

仏教セミナー、法華経セミナー、ご供養の導師、道場当番など、立正佼成会には様々なお役や活動があります。私が一番好きなのは道場当番です。「見返りを求めずに人さまに尽くしましょう」「どんなことでも、どんな人にでも、させてくださいましょう」と教え

ていただいたことの実践として、私はいつも教会のトイレ掃除を自分のお役にしています。

と言うのも、以前、旅行中に使ったトイレが汚れていたことがあり、その時トイレが汚れているのは私の心が汚れているからだ気づいたからです。それからは、私は汚れたトイレを見つけるたびに、いつもきれいに掃除をするようにしてきました。

団参で本部参拝をした時も、本部施設のトイレ掃除をさせていただきました。その時、スタッフさんが話されていた「トイレを掃除して、心の掃除をさせていただきますましょう」という言葉がとても印象的で、私は「本当にその通り」と思いました。まずは自分自身の心をきれいにするのが大切なのです。私が掃除したトイレを使った方が「とてもきれいなね」と言ってくださったのを聞き、私は人さまのお役に立てたことを本当にうれしく思いました。

立正佼成会の教えの理解が深まるにつれて、私の言葉遣いや振る舞いも変わりました。私のことを知り尽くした25年来の親友が私の変化に気づき、ある日「一体何があなたをこんなふうに変えたの?」と聞かれました。

そこで私は立正佼成会のことをお話しました。佼成会は、仏さまの教えをわかりやすく、日々の生活で活かせるように教えてくれることや、「ありがとう」という感謝の言葉の大切さと、見返りを求めずに人さまに尽くすことの大切さを学んだことを伝えました。

すると、私の言葉に触発されたのか、その友人も布施行の実践を始めたのです。彼女はタイの伝統衣装のレンタルショップを運営しています。バンコク教会が儀式行事などでタイの伝統衣装を必要とする

# Spiritual Journey

時は、いつも無償で、しかもクリーニング代も取らずに貸し出してくれます。彼女は「私もあなたのように布施行を実践したい」と言ってくれます。

何年前か、バンコク教会が本部で行なわれた「お会式・一乗まつり」の万灯行進に参加させていただいた時、教会のメンバーが着ていた衣装は彼女のお店のものでした。バンコク教会にとってもとても有り難いことでしたが、布施の実践は彼女の人生をとっても充実したものに変わりました。

立正佼成会に入会して10年が経ちましたが、今の私の気持ちは、ただただ「有り難い」の一言です。バンコク教会のすべてが大好きです。今、こうして正しい道を歩んでいられることが、うれしくてなりません。人生の様々な出来事を経験することで、以前より人にやさしくなり、我慢することも覚えました。そして何よりも「ごめんなさい」「ありがとう」が言えるようになりました。私の人生は本当に大きく変わりました。開祖さまの教えに出会えたことに、心から感謝しています。

わかりやすく、実践しやすい佼成会の教えを、家族、姪っ子、友人など、私は自分のまわりにいるたくさんの人たちに伝えていきます。特に、一人でも多くの青年たちに、「見返りを求めずに人さまに尽くすこと」の大切さを伝えていきたいと思います。

本日はありがとうございました。いつも私を暖かく迎えてくださる立正佼成会に、水谷教会長さんをはじめすべての教会長さんに、そしてバンコク教会と本部のスタッフの皆さまに、深く感謝いたします。

最後に、私の大切な法友であるバンコク教会の素晴らしいサンガの皆さまに、心より感謝申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。



脇導師のお役を務めるプリムさん

# 法華三部經

## 各品のあらましと要点

### 妙法蓮華經

#### 如来寿量品第十六（後半）

#### 仏さまは不生不滅

しかし、お釈迦さまのようなりっぱな指導者がいつも身近におられて、たえずその教えによって人びとを導いてくださるうちは大丈夫なのですが、そのような指導者がいなくなると、だんだんと元の木阿弥に戻っていくのが、凡夫の悲しさです。目に見えるものしか信じられない凡夫は、久遠実成の本仏である仏さまは常にそばにおられるのに、目に見える仏さま（お釈迦さま）が入滅されてしまうと、つい道を踏み外しがちになるものです。

お釈迦さまはそれを心配され、そのために、〈仏は不生不滅である〉ということをしっかり教えこんでおこうとして、この譬えをお説きになったのです。たとえ指導者がいなくても、真実の教えさえ残っていれば、それで救われるからです。

子どもたち（衆生）が、父（仏さま）の留守に、誤って毒になる薬を飲んで七転八倒したのは、立派な指導者がいなくなったために、したい放題の生活をしはじめ、それで苦しみを招いたというわけです。

そこへ、父上が所用先から帰ってこられました。毒（五欲に振り回される生活）のために本心を失っていた子どもたちも、それを見てたいへん喜びました。なぜかといえば、どんなに道を踏み外していても、人間には、仏性というものがちゃんとあるからです。

#### 宗教を窮屈に思う心理

名医の父すなわち仏さまは、〈迷いをのぞく薬〉とか、〈ほんとうの智慧を得させる薬〉とか、〈人のために尽くす心を起こさせる薬〉など、いろいろ貴重な薬を調合し、それを凡夫にも飲みやすいようにして与えられました。これが方便の教えです。

それを飲んだ衆生はすぐ救われたのですが、せつかくの良薬を飲もうともしない衆生もたくさんいるのです。なぜかといえば、ほんとうは香りも味もよいその薬が、本心を失っている衆生にとっては、変な臭いのする、いやな色の薬に見えるので、手を出したまらないのです。ということはつまり、五欲の楽しみにおぼれきっている衆生は、仏さまの教えがなんとなく窮屈なように感じられて、その教えの中に入ろうとしない……というわけです。



れんぽかつごう  
恋慕渴仰の思い

これは、まったくあさはかな人間のわがままなのです。そこで、仏さまは衆生の目を覚まさせるために非常手段をおとりになります。すなわち、見えない所へ、一時身をおかくしになるのです。

歴史的に言えば、お釈迦さまが入滅されることです。そうすると、人びとは、にわか心細くなり、失った大指導者を恋慕う感情が猛烈に起こります。のどの渇いた人が水を求めるような切実さで、仏を求める心が湧いてくるのです。この思いを、経典の偈の中では〈恋慕〉・〈渴仰〉と書いてあります。

そういう痛切な思いが生ずれば、人間は必ず本心に立ち返ります。目が覚めるのです。これはなんとかしなければならぬ——と思って、残された教え(良薬)に飛びついていくのです。

この〈恋慕渴仰〉の相手は、必ずしも現実の仏さまにはかぎりません。これを抽象的に考えれば、次のようになります。いままでは神とか仏とかにまったく無関心で、ただ日々の生活に夢中になっていた人が、ある危機に直面して、何かにつきりつきたい気持ちになったとき、もしくは物質生活に満足しきってしかもなんとなく空しいものをおぼえ、何か心の満足を与えてくれるものはないかと思うとき、その〈すがりつきたい〉〈心の満足を与えて欲しい〉と思う相手が、たとえ自分では意識しなくても、実は神・仏なのです。

このように、歴史的な存在であった仏さまでもよし、抽象的な存在である仏さまでもよし、とにかく

ほんとうに自分を救ってくれるものを、のどが渇いた人が水を求めるように求め、恋慕いこがれる思いがあつてこそ、その人の心は清められ、救われるのです。宗教が、哲学や道徳の教えと違うところは、その一点にあるのです。立派な哲学や道徳の教えは、頭(表面の心)で「なるほどそうか」と理解するものです。すべての人が、それを理解し、そのとおりに実践できれば、問題はありません。ところが、実際はなかなかそうはゆきません。〈表面の心〉では分かっている、人間には〈かくれた心〉という始末のわるいものがある、それが知らず知らずのうちに人間を迷わせ、よくない行動をさせるのです。ですから、この〈かくれた心〉までも清めなければ、人間は救われませんが、心の奥底から転換せしめてくれるのが宗教であり、信仰なのであります。

このことが、この品の要点の一つであります。



## 目覚めれば仏さまが見える

この子どもたちも、父に対する恋慕渴仰の念を起こしたからこそ、目が覚めたのです。ところが、目を覚まして本心に立ち返ると、たちまち父は帰ってきました。ということはつまり、衆生がハッと気がつけば、いつでも仏さまはそこにいらっしゃるのだ……という意味です。

仏さまは不生不滅であり、一瞬たりともわれわれのそばから離れられることはないのです。いや、〈そば〉という言葉もほんとうは正確ではなくて、仏さまは常にわれわれの内にも外にも満ち満ちておられるのです。われわれは仏さまと一体なのです。

ですから、そういう意味の仏さまが姿を消されるというのは、われわれがそれを忘れ、見失ってしまうことにすぎないのです。人間は、五官でもって実際に感じられないものに対して、いつもはあまり関心がありません。また、五官で感じられるものですら、たとえば、空気でも、太陽でも、水でも、普段はほとんどその存在を忘れています。しかし、何かことがあれば、特にそれが欠乏してくると、そのありがたさを思い出します。

仏さまに対しても、われわれは同じような誤りを犯しているのです。仏さまの本体は、この世のありとあらゆるものを生かしておられる久遠実成の本仏です。ですから、その本仏のみ心のおりに生きておれば、心は自由自在であり、いつもしあわせにしておられるのに、ついそれを忘れてしまうために、わがままな行ないをして、そのためにみずから苦しみを招いているわけです。

## 生かされている自覚

もしわれわれが、いつも「自分は久遠実成の本仏に生かされているのだ」という自覚を深くもち、「久遠実成の本仏に生かされているかぎりには、そのみ心のおりに生きることが正しい生き方だ」という明快な真実を悟り、本仏のみ心に基づいて説かれたお釈迦さまの教えに従って生きてゆきさえすれば、常に大自信をもった生活ができ、人生苦などはあってもなきにひとしくなってしまうのです。

それが、ほんとうの人間らしい生き方であり、この品は、最大の要点としてこのことを教えられているのです。

(庭野日敬著『法華三部経 各品のあらましと要点』  
校成出版社, 2016年 [初版 1991年], p. 163-170)



### いま、自分にできることを

新型コロナウイルスの蔓延という思いもかけなかった日々の中で、いまこそ「新しい生活様式・新たな日常」を創造して行く時を迎えさせていただいていると思います。

そのような中で、私たちの願いは、法華經の教えを一人でも多くの人々に伝えたいということですね。今月の会長先生のご法話では「いま、自分にできることを」とご指導くださっています。

法華經「從地涌出品」の「地涌の菩薩」を引用され、四弘誓願に示される菩薩道の実践として、何を願い、何を誓い日々過ごすのか？と私たちに投げかけてくださいました。

一日も早くコロナ禍が終息しますように、すべての人が救われ、幸せになりますようにとの願いをもって、まず自ら法華經の教えを繰り返し学び、自らの菩薩としての自覚を高めつつ、日々教えを実践したいと思います。

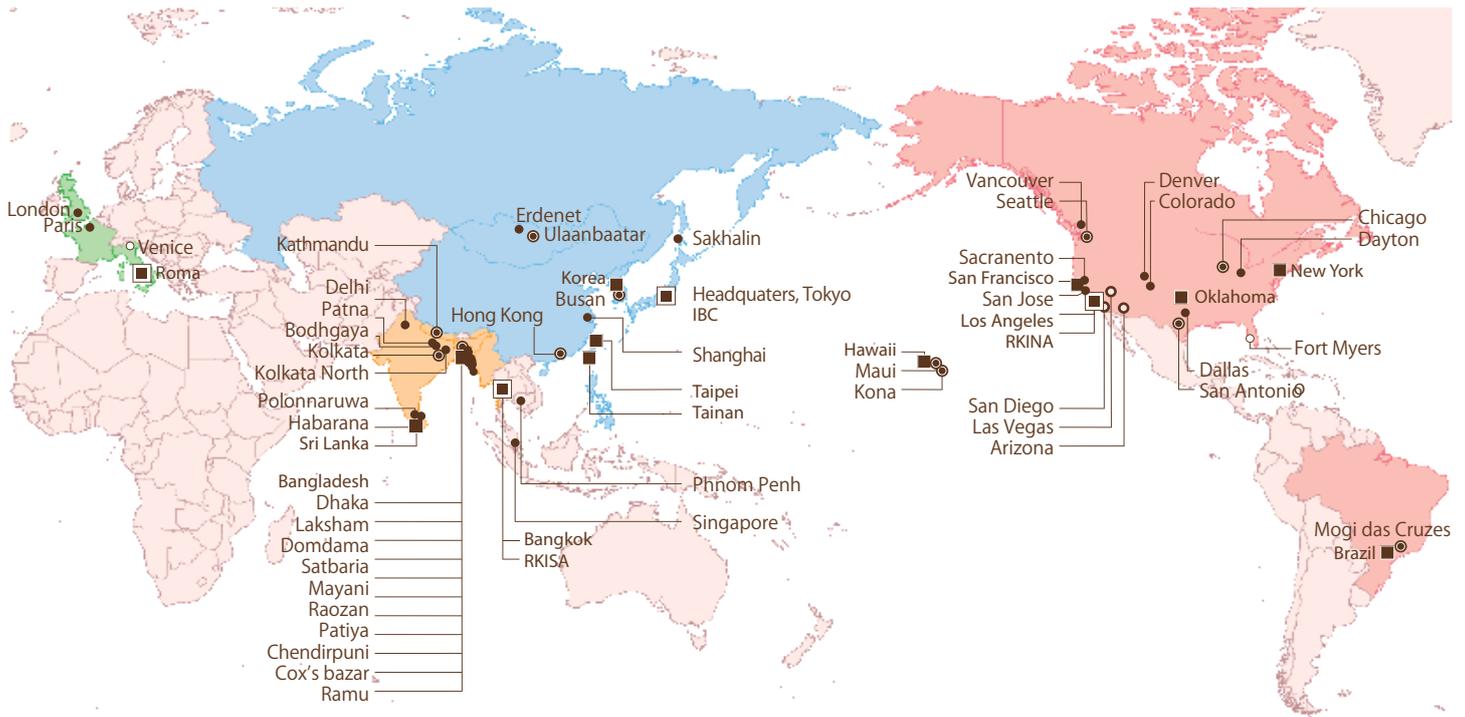
国際伝道部長  
齋藤 高市



✉ Living the Lotus では、皆様のご意見・ご感想を募集しています。  
お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。  
E メール : [living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp](mailto:living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp)



# Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



## Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, USA  
TEL: 1-808-455-3212 FAX: 1-808-455-4633  
Email: sangha@rkhawaii.org URL: <http://www.rkhawaii.org>

## Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, USA  
TEL: 1-808-242-6175 FAX: 1-808-244-4625

## Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, USA  
TEL: 1-808-325-0015 FAX: 1-808-333-5537

## Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, USA  
POBox 33636, CA 90033, USA  
TEL: 1-323-269-4741 FAX: 1-323-269-4567  
Email: rk-la@sbcglobal.net URL: <http://www.rkina.org/losangeles.html>

Please contact Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas**

## Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, USA  
POBox 778, Pacifica, CA 94044, USA  
TEL: 1-650-359-6951 Email: [info@rksf.org](mailto:info@rksf.org)  
URL: <http://www.rksf.org>

Please contact Rissho Kosei-kai of San Francisco

- Rissho Kosei-kai of Sacramento**
- Rissho Kosei-kai of San Jose**

## Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, USA  
TEL: 1-212-867-5677 Email: [rkny39@gmail.com](mailto:rkny39@gmail.com) URL: <http://rk-ny.org>

## Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, USA  
TEL: 1-773-842-5654  
Email: [murakami4838@aol.com](mailto:murakami4838@aol.com) URL: <http://rkchi.org>

## Rissho Kosei-kai of Fort Myers

URL: <http://www.rkftmyersbuddhism.org>

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th St., Oklahoma City, OK 73112, USA  
POBox 57138, Oklahoma City, OK 73157, USA  
TEL: 1-405-943-5030 FAX: 1-405-943-5303  
Email: [rkokdc@gmail.com](mailto:rkokdc@gmail.com) URL: <http://www.rkok-dharmacenter.org>

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Denver

1255 Galapago St. #809 Denver, CO 80204, USA  
TEL: 1-303-446-0792

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

617 Kling Drive, Dayton, OH 45419, USA  
URL: <http://www.rkina-dayton.com>

## The Buddhist Center Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First St., Suite #1, Los Angeles, CA 90033, USA  
TEL: 1-323-262-4430 FAX: 1-323-262-4437  
Email: [info@rkina.org](mailto:info@rkina.org) URL: <http://www.rkina.org>

## Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

(Address) 6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, USA  
(Mail) POBox 692042, San Antonio, TX 78269, USA  
TEL: 1-210-561-7991 FAX: 1-210-696-7745  
Email: [dharmasanantonio@gmail.com](mailto:dharmasanantonio@gmail.com)  
URL: <http://www.rkina.org/sanantonio.html>

## Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, USA  
TEL: 1-253-945-0024 FAX: 1-253-945-0261  
Email: [rkseattlewashington@gmail.com](mailto:rkseattlewashington@gmail.com)  
URL: <http://buddhistlearningcenter.org>

## Rissho Kosei-kai of Vancouver

Please contact RKINA

## Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP, CEP 04116-060, Brasil  
TEL: 55-11-5549-4446, 55-11-5573-8377  
Email: [risho@rkk.org.br](mailto:risho@rkk.org.br) URL: <http://www.rkk.org.br>

Facebook: <https://www.facebook.com/rishokosseikaidobrasil>  
Instagram: <https://www.instagram.com/rkkbrasil>

### Risho Kosei-kai de Mogi das Cruzes

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP, CEP 08730-000, Brasil

### 在家佛教韓國立正佼成會

〒 04420 大韓民國 SEOUL 特別市龍山區漢南大路 8 路 6-3  
6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea  
TEL: 82-2-796-5571 FAX: 82-2-796-1696

### 在家佛教韓國立正佼成會釜山支部

〒 48460 大韓民國釜山廣域市南區水營路 174, 3F  
3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea  
TEL: 82-51-643-5571 FAX: 82-51-643-5572

### 社團法人在家佛教立正佼成會

台灣台北市中正區衡陽路 10 號富群資訊大廈 4 樓  
4F, No. 10, Hengyang Road, Jhongheng District, Taipei City 100, Taiwan  
TEL: 886-2-2381-1632, 886-2-2381-1633 FAX: 886-2-2331-3433

### 台南市在家佛教立正佼成會

台灣台南市崇明 23 街 45 號  
No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan  
TEL: 886-6-289-1478 FAX: 886-6-289-1488  
Email: kosekaitainan@gmail.com

### Rissho Kosei-kai South Asia Division

Thai Rissho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218

### Rissho Kosei-kai of Kathmandu

Ward No. 3, Jhamsikhel, Sanepa-1, Lalitpur, Kathmandu, Nepal

### Rissho Kosei-kai of Kolkata

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar, Kolkata 700094, India

### Rissho Kosei-kai of Kolkata North

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059, West Bengal, India

### Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center

Ambedkar Nagar, West Police Line Road, Rumpur, Gaya-823001,  
Bihar, India

### Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center

### Rissho Kosei-kai of Central Delhi

77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,  
New Delhi 110060, India

### Rissho Kosei-kai of Singapore

### Rissho Kosei-kai of Phnom Penh

W.C. 73, Toul Sampaov Village, Sangkat Toul Sangke, Khan Reouseykeo,  
Phnom Penh, Cambodia

### RKISA Rissho Kosei-kai International of South Asia

Thai Rissho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

### Rissho Kosei-kai of Bangkok

Thai Rissho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218 Email: info.thairissho@gmail.com

### Rissho Kosei Dhamma Foundation

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka  
TEL: 94-11-2982406 FAX: 94-11-2982405

### Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa

### Rissho Kosei-kai Bangladesh

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh  
TEL/FAX: 880-31-626575

### Rissho Kosei-kai Mayani

Mayani Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

### Rissho Kosei-kai Damdama

Damdama Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

### Rissho Kosei-kai Patiya

China Clinic, Patiya Sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

### Rissho Kosei-kai Satbaria

Village: Satbaria Bepari Para, Chandanaih, Chittagong, Bangladesh

### Rissho Kosei-kai Chendhirpuni,

Village: Chendhirpuni, P.O.: Adhunogar, P.S.: Lohagara, Chittagong,  
Bangladesh

### Rissho Kosei-kai Dhaka

408/8 DOSH, Road No 7 (West), Baridhara, Dhaka, Bangladesh

### Rissho Kosei-kai Laksham

Village: Dhupchor, Laksham, Comilla, Bangladesh

### Rissho Kosei-kai Cox's Bazar

Ume Burmize Market, Tekpara, Sadar, Cox's Bazar, Bangladesh

### Rissho Kosei-kai Cox's Bazar, Ramu Shibu

### Rissho Kosei-kai Raozan

Dakkhin Para, Ramzan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

### Buddiyskiy khram "Lotos"

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk 693005, Russia  
TEL: 7-4242-77-05-14

### Rissho Kosei-kai of Hong Kong

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road, North Point, Hong Kong, China

### Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai

### Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar

(Address) 15F Express Tower, Peace avenue, khoro-1, Chingeltei district,  
Ulaanbaatar 15160, Mongolia

(Mail) POBox 1364, Ulaanbaatar-15160, Mongolia  
TEL: 976-70006960 Email: rkkmongolia@yahoo.co.jp

### Rissho Kosei-kai of Erdenet

### Rissho Kosei-kai di Roma

Via Torino, 29, 00184 Roma, Italia  
TEL/FAX: 39-06-48913949 Email: roma@rk-euro.org

### Rissho Kosei-kai of the UK

### Rissho Kosei-kai of Paris

### Rissho Kosei-kai of Venezia

### Rissho Kosei-kai International Buddhist Congregation (IBC)

166-8537 東京都杉並区和田 2-7-1 普門メディアセンター 3F  
Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo 166-8537, Japan  
TEL: 03-5341-1230 FAX: 03-5341-1224 URL: <http://www.ibt-rk.org>